

阿 蘇 山

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、3 (小規模噴火が発生または可能性) から 2 (やや活発な火山活動) に変更しました。

概 況

阿蘇山では 4 月 14 日のごく小規模な噴火以降、噴火は発生していません。火山活動は依然やや活発な状況にあるものの、小規模噴火の可能性は低くなったと判断されます。しかし、湯だまりの表面温度も高いなど熱的活動は依然活発で、火山性連続微動が継続するなど、4 月 14 日以前と同様に火山活動はやや活発な状態にあり、今後、火山活動が再び活発になる可能性があります。

4 月 15 日以降の火山活動は以下のとおりです。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は 500m で、特に異常は認められませんでした(図 1、図 2)。

地震・微動活動の状況

火山性連続微動は、4 月 16 日 01 時 28 分から発生し、26 日から 5 月 7 日頃にかけて振幅がやや大きくなりましたが、8 日以降は 4 月 26 日以前の状態となっています(図 3)。

火山性地震や孤立型微動の発生回数に大きな変化はありません。孤立型微動は 1 日あたり 71 ~ 207 回とやや多い状態で経過しています(図 1、図 2)。期間中、A 型地震は 13 回で、B 型地震は 4 月 20 日頃までは 1 日あたり 8 ~ 33 回とやや多い状態で経過していましたが、その後は少なくなりました(図 1、図 2)。

火口や噴気地帯の状況

期間中、現地観測を 11 回実施し、中岳第一火口の状況に大きな変化はみられませんでした。湯だまり量は約 2 割で変化なく、湯だまりの色は 4 月 15 日に灰色から黒灰色となりましたが、5 月 5 ~ 8 日の降雨の影響で再び灰色となりました。湯だまり中央部付近と北側で高さ約 5 m、その他多数の箇所でも 2 ~ 3 m の土砂噴出を観測しました。

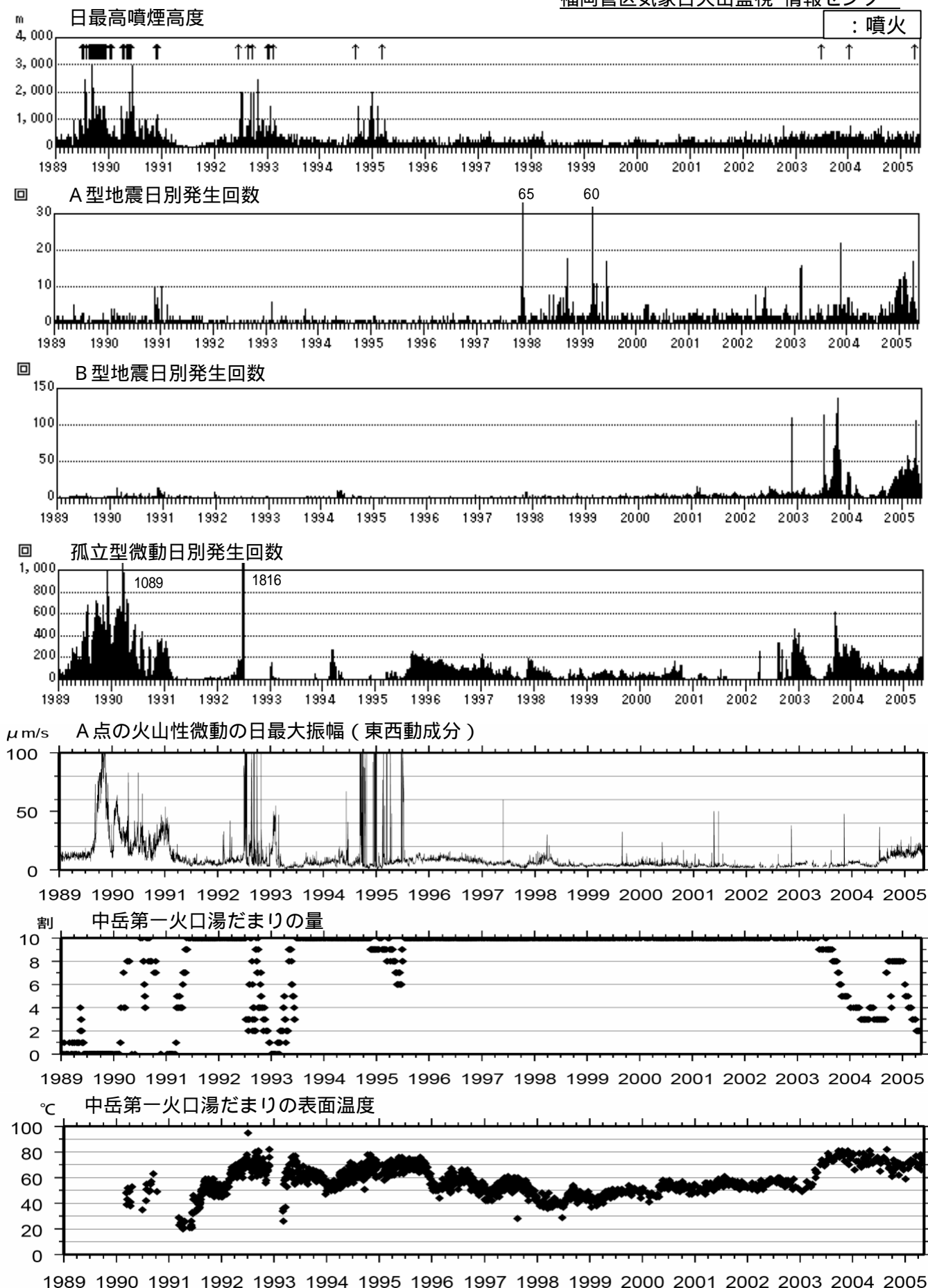
湯だまりの南西側にある噴気孔からは火山ガスを勢い良く噴出していましたが、5 月 7 日の観測では流れ込んだ雨水のため湯だまりとなり、同場所で 2 ~ 3 m の土砂噴出を観測しました。

なお、湯だまりの表面温度は 66 ~ 78 (最高は 4 月 18 日) で、高い状態が続いています(図 1)。

(温度測定は、赤外放射温度計による)

機動観測の結果

5 月 7 ~ 9 日に機動観測を実施し、GPS 及び全磁力の繰り返し観測や熱映像観測を行いました。全磁力観測では、火山活動に伴う変化はありませんでした。また、GPS による地殻変動観測でも、マグマの上昇等を示す変化はありませんでした。熱映像観測では、湯だまりの南西側噴気孔は雨水が流れ込んだ影響で温度は下がっていました(図 4 ~ 6)。



阿蘇山 図1 火山活動経過図(1989年1月1日~2005年5月11日)

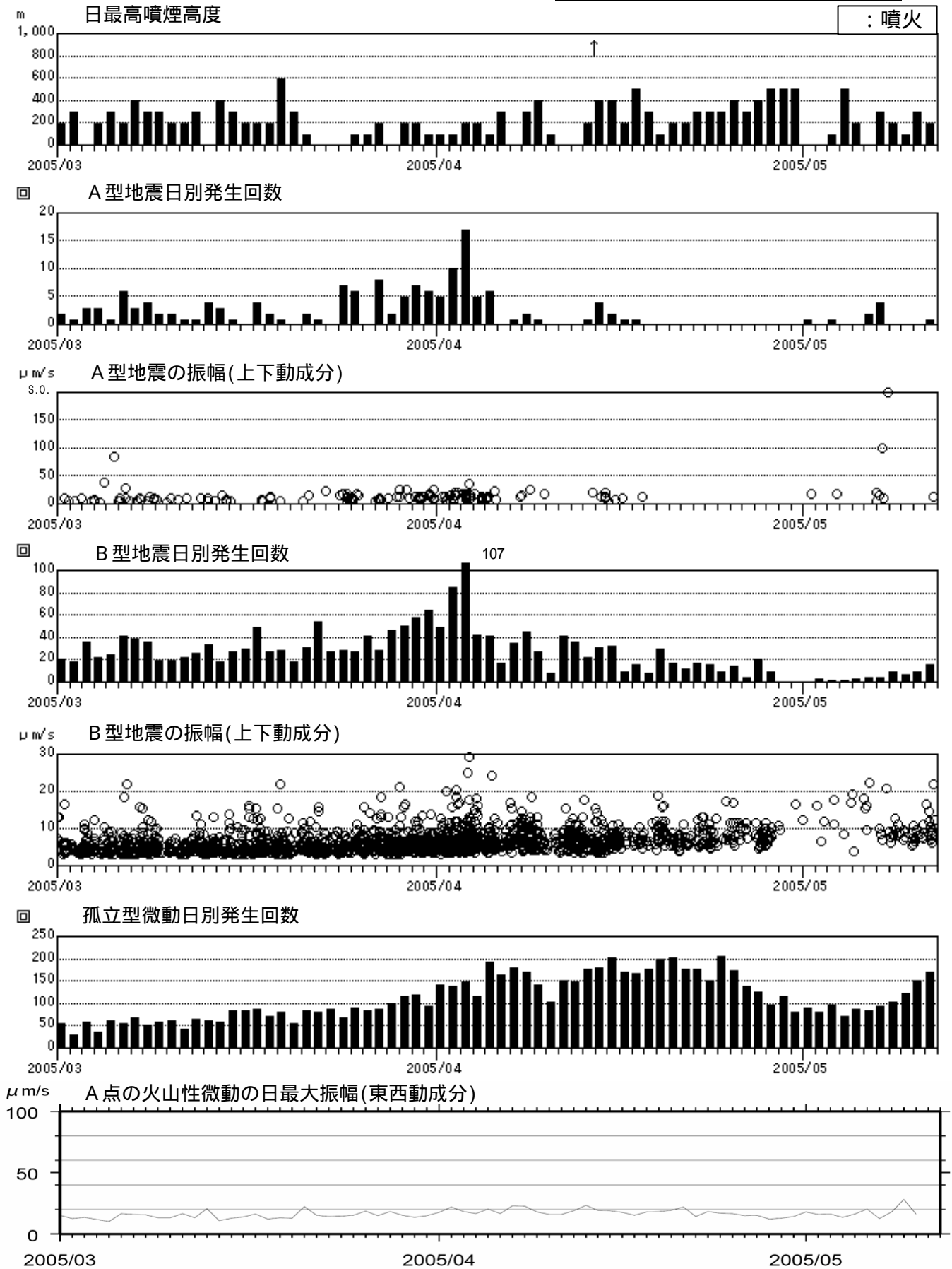


図 2 火山活動経過図(2005 年 3 月 1 日 ~ 5 月 11 日)

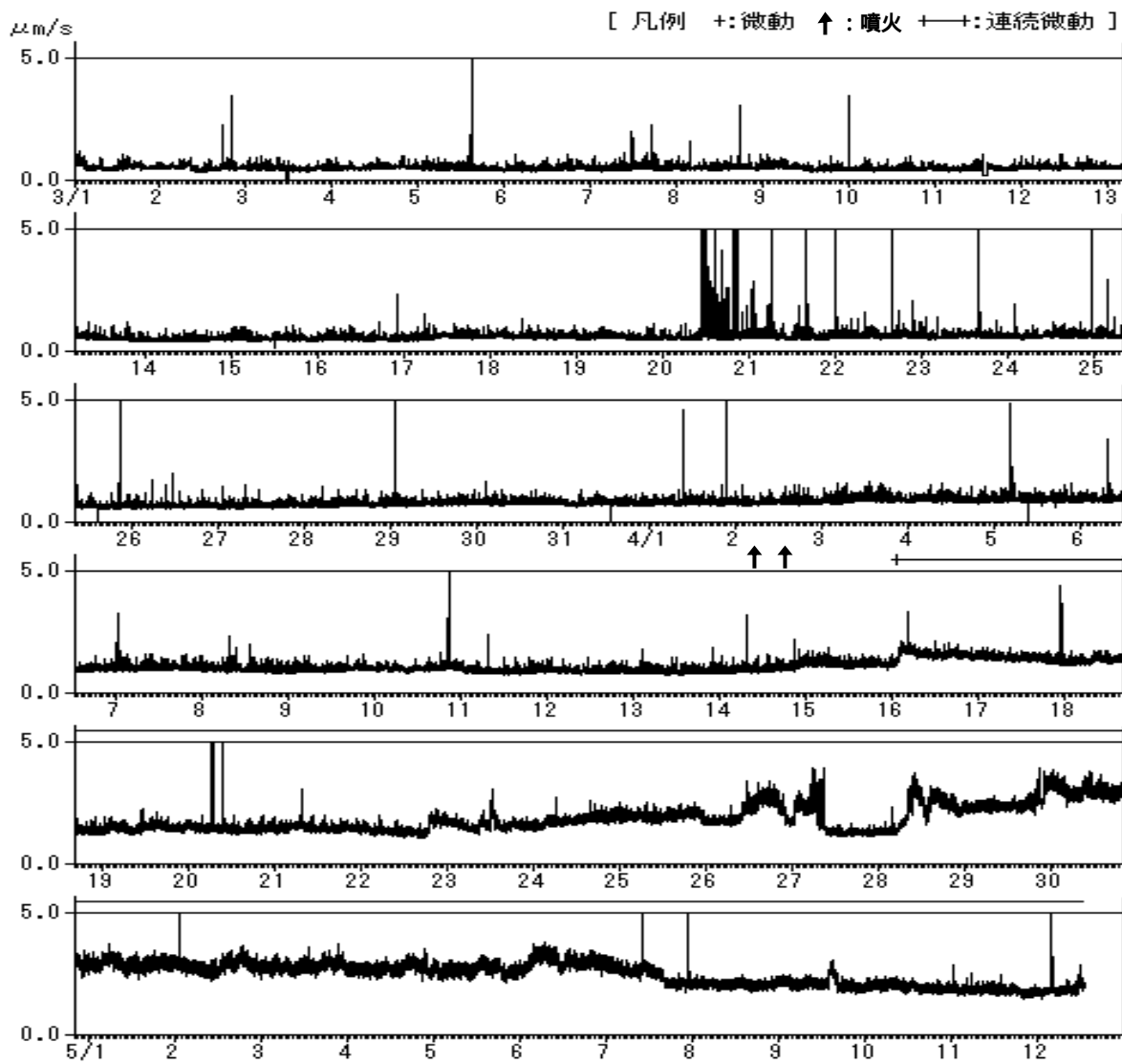
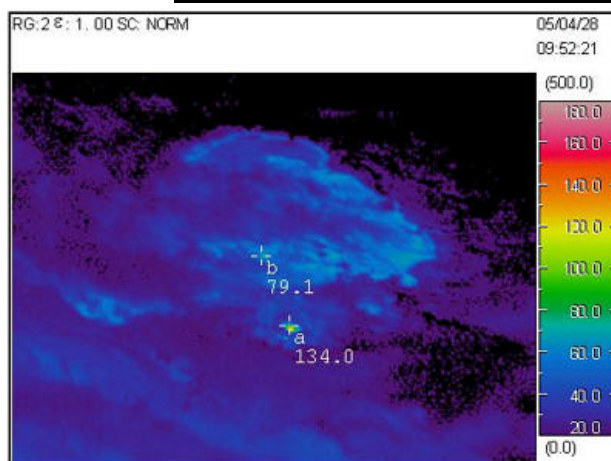
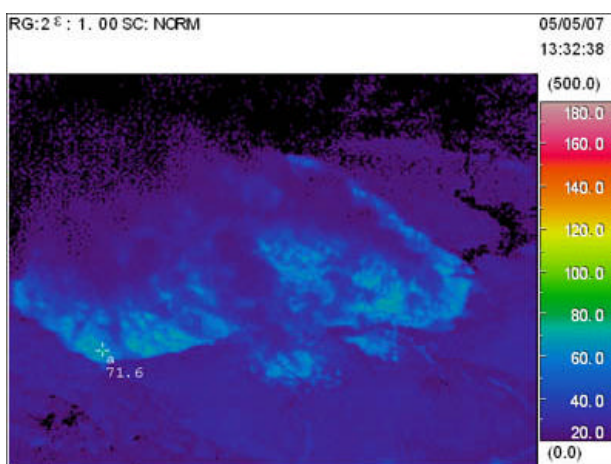


図3 1分間平均振幅の時間変化(A点南北動成分)(2005年3月1日～5月12日12時)



2005 年 4 月 28 日

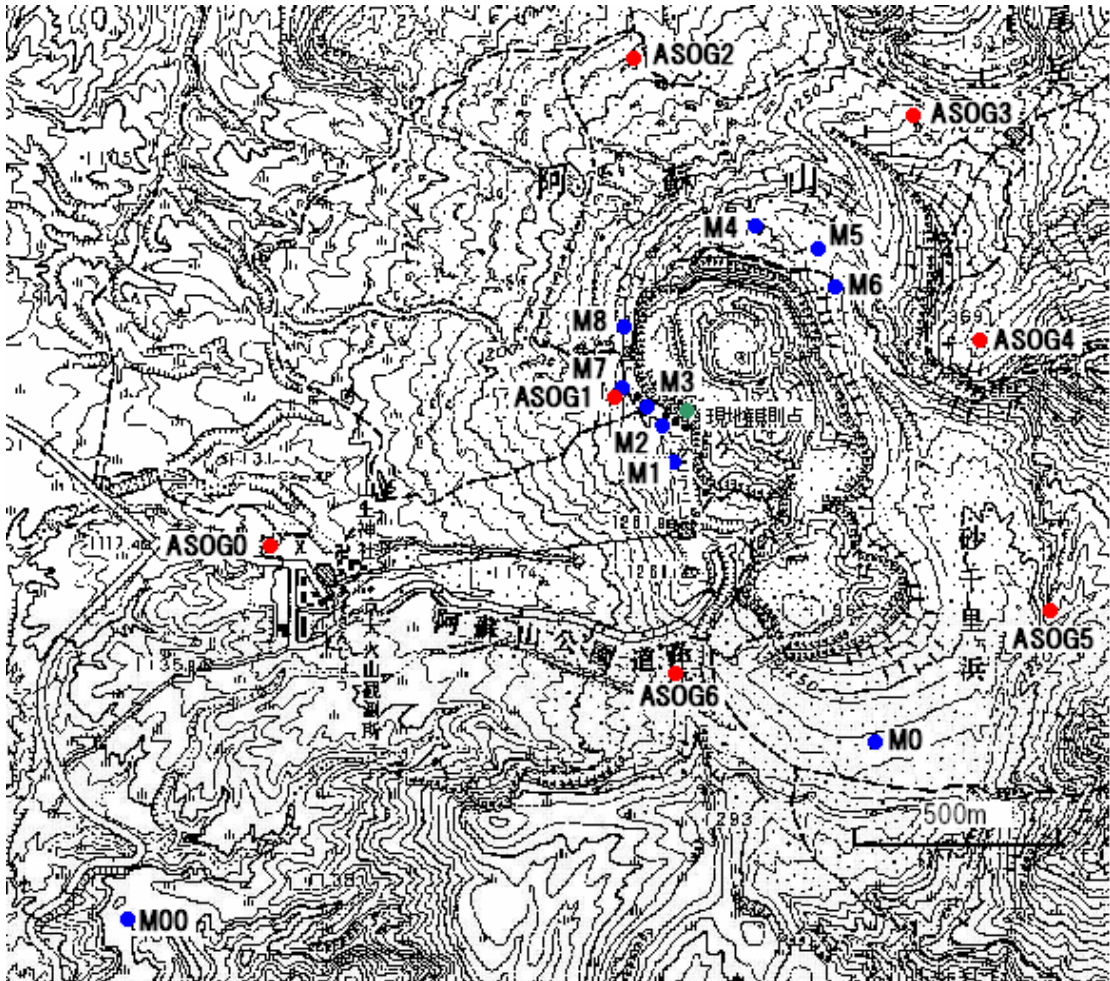
- ・湯だまり量は約 2 割、湯だまり内で火口底が露出している部分が確認できました。
- ・色は黒灰色、表面温度は 72.3 でした(赤外放射温度計による)。
- ・湯だまり南西側の噴気孔の内側は褐色となっていました。また、周囲には硫黄が付着していました。



2005 年 5 月 7 日

- ・湯だまり量は約 2 割でしたが、5 ~ 7 日の降雨でやや増加していました。
- ・色は灰色、表面温度は 75.9 でした(赤外放射温度計による)。
- ・湯だまり南西側の噴気孔は、流れ込んだ雨水で湯だまり状態となり、同場所で 2 ~ 3 m の土砂噴出を観測しました。
- ・土砂噴出は湯だまり内の数ヶ所で観測し、高さは 2 ~ 3 m でした。
- ・湯だまりの南西側噴気孔は、雨水が流れ込んだ影響で温度は下がっていました。

図 4 中岳第一火口内の状況



観測点配置図

: GPS 観測点(基準点 ASOG1)
 : 全磁力観測点(参照点は M00)

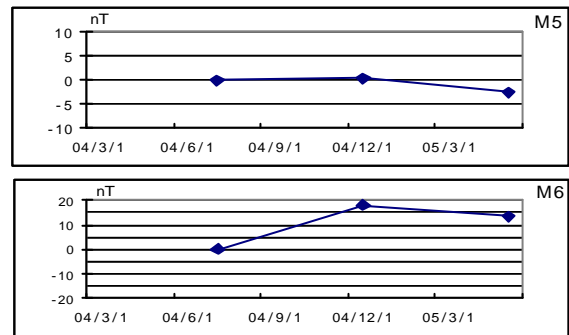
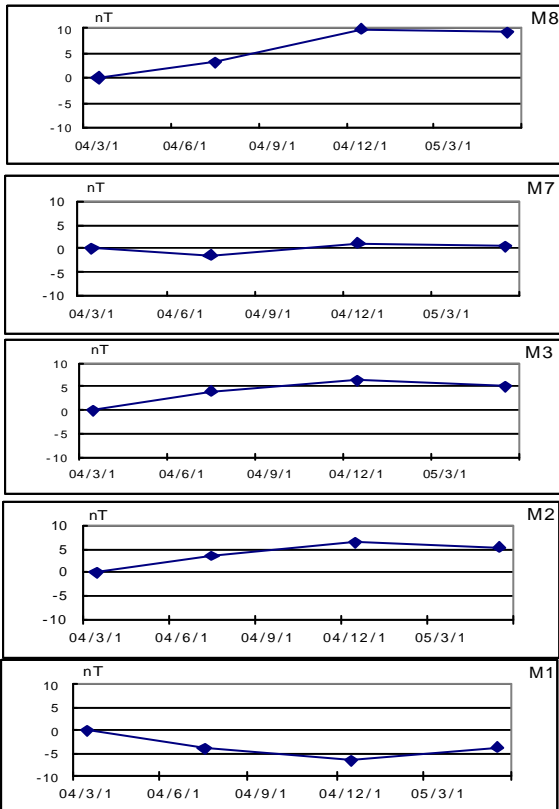


図 5 全磁力繰り返し観測結果
 (参照点; M00)
 (2004 年 3 月 18 日 ~ 2005 年 5 月 8 日)
 ・火山活動に起因する変化は認められませんでした。

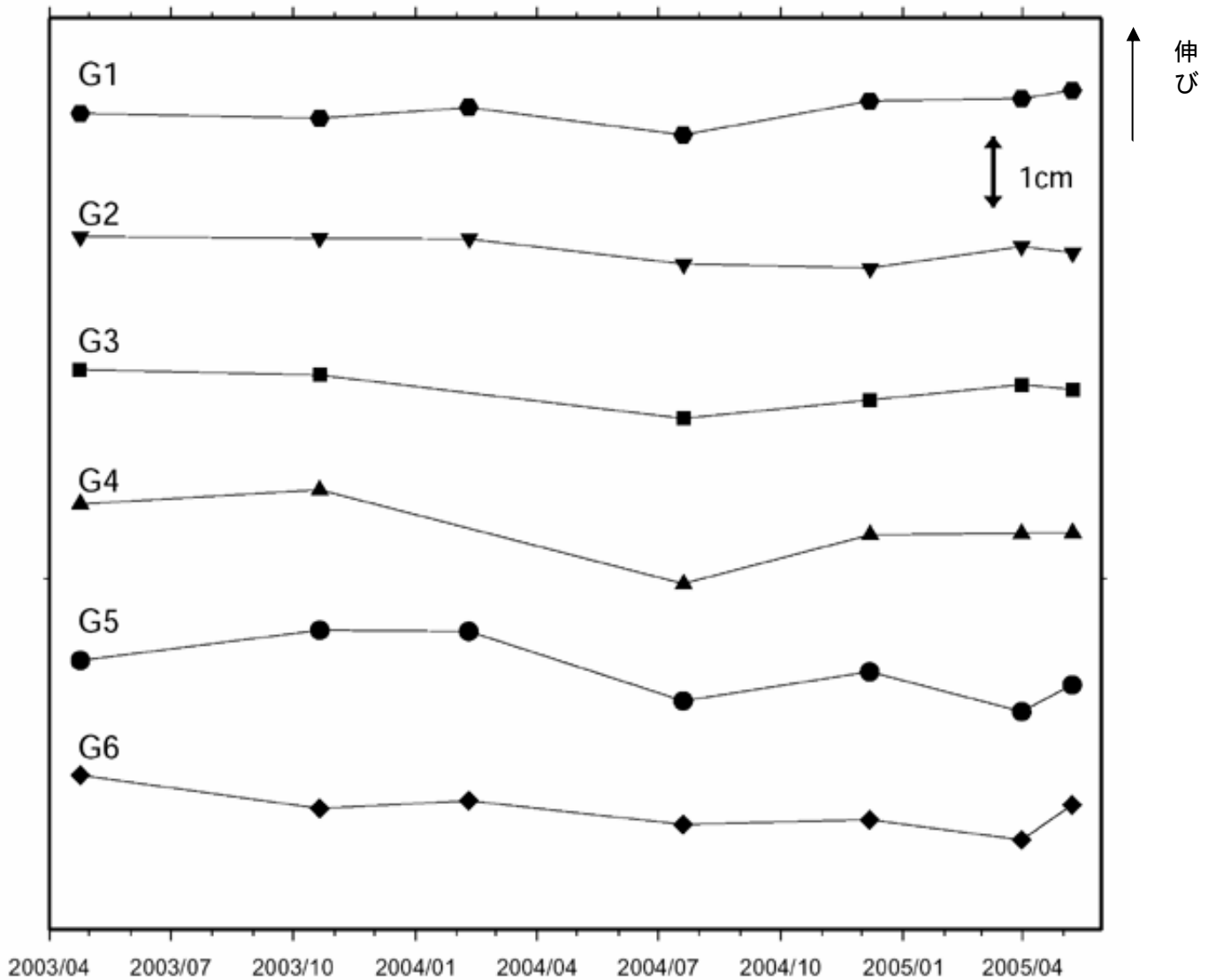


図6 GPS 繰り返し観測による基線長変化 (2003 年 4 月 ~ 2005 年 5 月)
・ ASOG 0 を固定点としています。
・ 火山活動に起因する変化は認められませんでした。